



We are 鶉っ子!

福井市鶉小学校
令和8年3月2日
第12号 文責：校長

学校教育目標 豊かな心を持ち たくましく生きる児童の育成
校訓(めざす児童像) 強い子 よい子 鶉の子

12月に、3年生以上の児童と全校児童の保護者の方を対象とした学校評価アンケートを行いました。お忙しい中、ご回答いただきありがとうございます。学校評価アンケートの結果については、本校HPにもアップしましたので、詳細はそちらをご覧ください。

多様な価値観が存在する社会の中で、1つの「正解」ではなく「納得解」や「最適解」をいかに対話によって見つけ出すかが重要視されています。学校評価に関しても、考え方や感じ方は様々なので、必ずしも100%を求めることは難しいのかも知れません。ではなぜ毎年学校評価を行っているのでしょうか。

私は子どもたちに教科のテストについて、「たまたま100点だった」よりも「90点だったけど直しをしっかりと理解できた」方が、これからの自分の学びのために価値があるよという話をよくしてきました。つまり、自分のこれからの行動指針となるものが評価やテストだと考えてます。学校評価の結果に一喜一憂することが重要なのではなく、今後の学校教育活動をより良くするために、様々な考えや思いを拾い上げる意識をもつことに意味があると思っています。

学校評価の結果だけでなく、保護者の皆様のご意見は、ともに子どもの成長を支えるサポーターとしてのご意見として、今後の支援に生かして参りたいと考えていますので、忌憚のないご意見を今後ともよろしく願います。以下に、いくつかの項目についての結果と分析を挙げます。

【児童評価】

教師として児童が「楽しい」と思える教育を展開することは当然ですが、学校の当事者である児童が、自分や友達が楽しいと思える学校を作っていこうとする意識を大切にしたいです。そのためには、自尊感情や自己肯定感が高まる教師や保護者の関わり方が重要と考えます。数値は全般的に高いですが、マイナス評価の児童にも目を向ける必要があります。

児童集計		R7		R6	
回答		計	%	計	%
自分は、学校が楽しい。	A よく	51	61%	45	52%
	B やや	21	25%	32	37%
	C あまり	8	10%	6	7%
	D まったく	3	4%	3	3%
	E 無	0	0%	0	0%
	計	83	100%	86	100%
自分は、みんなで何かをするのは楽しい。	A よく	64	76%	62	72%
	B やや	18	19%	22	26%
	C あまり	2	2%	1	1%
	D まったく	2	2%	1	1%
	E 無	0	0%	0	0%
	計	84	100%	86	100%
自分は、授業がよくわかる。	A よく	42	50%	45	52%
	B やや	33	39%	29	34%
	C あまり	7	8%	8	9%
	D まったく	2	2%	2	2%
	E 無	0	0%	2	2%
	計	84	100%	86	100%
自分には、よいところがあると思う。	A よく	43	51%	49	57%
	B やや	24	29%	19	22%
	C あまり	10	12%	12	14%
	D まったく	7	8%	5	6%
	E 無	0	0%	1	1%
	計	84	100%	86	100%

【保護者評価】

「主体性」「意欲」「多様性と包括性」「体験」等が本校で大事にしていきたい教育のキーワードですが、それらは保護者の方や地域の方のご理解やご協力があって実現が可能です。そういった意味では、「気軽に学校へ相談できる」数値は、若干改善したもののまだまだ低いと感じます。教育活動の主語は「子ども」ですので、さらにオープンな学校教育が展開できるように努めます。

保護者集計		R7		R6	
回答		計	%	計	%
学校は、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。	A よく	27	46%	32	38%
	B やや	31	53%	47	56%
	C あまり	1	1%	4	5%
	D まったく	0	0%	1	1%
	E 無	0	0%	0	0%
	計	61	100%	86	100%
学校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	A よく	22	38%	26	34%
	B やや	33	57%	44	58%
	C あまり	3	3%	0	0%
	D まったく	0	0%	0	0%
	E 無	0	0%	10	10%
	計	61	100%	86	100%
学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している。	A よく	25	42%	28	29%
	B やや	29	48%	47	59%
	C あまり	6	6%	8	8%
	D まったく	0	0%	2	2%
	E 無	0	0%	6	6%
	計	61	100%	86	100%
子どものことで、気軽に学校に相談できる。	A よく	19	32%	24	28%
	B やや	26	43%	38	44%
	C あまり	15	25%	22	26%
	D まったく	0	0%	0	0%
	E 無	0	0%	0	0%
	計	61	100%	86	100%

ありがとう集会 2月26日(木)

インフルエンザの流行により、
1週間延期となったありがとう

集会が無事行われました。「鶉小学校の最高学年として活躍してくれた6年生に、感謝の気持ちを表しながら、楽しくふれあう」ことを目的として、毎年実施しているありがとう集会ですが、鶉っ子の強みでもある、異学年であっても仲がよい特長を生かして、縦割り活動中心で行っています。



かつては、各学年の出し物をし、練習にかなりの時間を費やしてきた時代もありましたが、そういった発表会的なものではなく、ナチュラルでいつものこにこ遊び(縦割り班での交流遊び)の延長のような雰囲気、和やかな時間でした。会を企画し、当日の運営を行った5年生、盛り上がるゲームを企画した4年生、華やかな掲示物を作ってくれた3年生、プレゼントの台紙を作ってくれた2年生、素敵なステージ飾りを作ってくれた1年生、どの学年も活動を通して感謝の気持ちが伝わってきました。

6年生は、自分たちで作った思い出ムービーと、自分たちで選んだ歌で、感謝の気持ちを伝えてくれました。

今年は担任の希望もあり、6年生の保護者の方には公開しましたが、会の後には親子で会話したり写真を撮ったりするなど、いつも以上に温かい雰囲気になりました。

ありがとう集会が終わると、6年生は小学校生活の集大成である卒業式に向けての準備が始まります。うれしさと寂しさが入り交じる季節です。



上砂川とのオンライン交流 2月25日(水)

コロナ禍を除き、平成24年から隔年で互に行き来している北海道の上砂川中央小学校の4年生とオンライン交流会を実施しました。

事前に鶉地区と上砂川地区の繋がりについて事前学習を行い、そこで上砂川地区に興味を持った4年生達は、交流当日も、やや緊張しながら徐々に打ち解け、最後には積極的にカメラの前に出て発言する様子も見られました。上砂川町は炭鉱の町として栄えたことや、自然がいっぱいで素敵なおとこだと知った4年生は、「上砂川町に行ってみよう！」という気持ちになったようです。



予定では、次年度は鶉小学校児童が上砂川へ訪問する年ですので、ぜひ訪問団に参加して、実際に交流を楽しめるといいですね。

～鶉小PTAより～

今年度の「制服・体操服リユース活動」の回収期間は、3月9日(月)～27日(金)です。不要な制服や体操服、帽子などありましたら、ぜひ寄付にご協力ください。

3月28日(土)9:00より、鶉公民館で販売します。どれくらい集まるのかはわかりませんが、サイズ等が合えばエコノミー&エコロジーです。どうぞよろしくお願いいたします。



【お知らせ】

感染症等の不測の事態に備え、卒業式は予備日を設けてあります。万一延期になった場合でも、10日の下校時刻に変更はありません。卒業式予備日は13日(金)ですが、実施の有無にかかわらず1～5年生の下校時刻等に変更はありません。

鶉小学校のHP

<https://www.fukui-city.ed.jp/uzura-e/>

ご意見ください <E-mail>

uzura-e@fukui-city.ed.jp

